

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語1
科目基礎情報						
科目番号	1A07		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	機械工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	教科書: Revised POLESTAR English Communication I (数研出版) / 副教材: ナビゲーションノート (数研出版)、 フェイバリット英単語・熟語コーパス3000 (東京書籍)					
担当教員	徳永 美紀					
到達目標						
1. 中学校で学習した内容を確認しながら、英文を読んだり書いたりするために必要な文法の基礎を習得する。 2. 日常英語の基礎的な語彙や慣用表現を習得する。 3. 様々なテーマの英文を読むことを通じて読解力や思考力を発展させる。 4. 英語の発音上のルール (音節、アクセント、文強勢、イントネーション、リズム、音の変化) に配慮しながら英文を読むことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
文法	中学校で学習した内容を確認しながら、英文を読んだり書いたりするために必要な文法の基礎を十分習得する。		中学校で学習した内容を確認しながら、英文を読んだり書いたりするために必要な文法の基礎を概ね習得する。		中学校で学習した内容を確認しながら、英文を読んだり書いたりするために必要な文法の基礎を習得していない。	
語彙	日常英語の基礎的な語彙や慣用表現を十分習得する。		日常英語の基礎的な語彙や慣用表現を概ね習得する。		日常英語の基礎的な語彙や慣用表現を習得していない。	
読解	様々なテーマの英文を読むことを通じて読解力や思考力を十分発展させる。		様々なテーマの英文を読むことを通じて読解力や思考力を概ね発展させる。		様々なテーマの英文を読むことを通じて読解力や思考力を発展させられない。	
音読	英語の発音上のルール (音節、アクセント、文強勢、イントネーション、リズム、音の変化) に配慮しながら上手に英文を読むことができる。		英語の発音上のルール (音節、アクセント、文強勢、イントネーション、リズム、音の変化) に配慮しながら英文を読むことが概ねできる。		英語の発音上のルール (音節、アクセント、文強勢、イントネーション、リズム、音の変化) に配慮しながら英文を読むことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	中学校での学習内容を基礎にして新しい文法事項を系統的に学び、英語の「読む」「書く」「話す」「聞く」の4技能をバランスよく養成する。					
授業の進め方・方法	授業は教科書に沿って進め、内容に応じて、言語活動を個人や共同 (ペア・グループ) で行う。適宜、小テストや課題を課す。計画進度は各レッスンの目的や活動の状況に応じて変わることがある。					
注意点	(1) 点数配分: 中間試験35%、期末試験35%、小テスト・課題を30%とし、総合的に判断して可否を決める。 (2) 評価基準: 60点以上を合格とする。 (3) 再試験を行うが、授業に参加し、課題を提出した学生を対象とする。 (4) 指定された教科書のページを事前に読み、分からない語彙や文法を調べておくことを予習として課す。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション、中学校での学習の確認と補足	授業方法の確認、語学学習の心得等を知る。中学校で十分に学習できなかった項目があれば確認する。		
		2週	Lesson 1: Washoku—Japanese Food Culture Part 1, Part 2, 文法: 5 文型 / to- 不定詞 (名詞的用法)	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。		
		3週	Lesson 1: Washoku—Japanese Food Culture Part 3, Part 4 文法: 5 文型	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。		
		4週	Lesson 1: Exercises, Communication Strategies Lesson 2: Different Bottles, Different Names Part 1	演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。好きな食べ物について述べることができる。 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。		
		5週	Lesson 2: Different Bottles, Different Names Part 2, Part 3 文法: 現在完了形 / to- 不定詞 (形容詞的用法・副詞的用法) / 動名詞	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。		
		6週	Lesson 2: Different Bottles, Different Names Part 4, Exercises, Communication Strategies, Reading Skills 1 辞書を使いこなす	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。依頼の表現を使うことができる。辞書の使い方を知る。		
		7週	Lesson 3: The Adventures of Ishikawa Naoki Part 1, Part 2 文法: 関係代名詞 (who, that, which, whose, whom, what) / 分詞の形容詞的用法	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。		
		8週	中間試験 (1～7週の理解度確認)	4 半期の学習内容を復習し、理解を定着させる。		
	2ndQ	9週	Lesson 3: The Adventures of Ishikawa Naoki Part 3, Part 4 文法: 関係代名詞 (who, that, which, whose, whom, what)	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。		

後期		10週	Lesson 3: Exercises, Communication Strategies Lesson 4: Bright Stars in a Dark Sky—Tekapo Part 1	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。自らの意思、意図を説明できる。
		11週	Lesson 4: Bright Stars in a Dark Sky—Tekapo Part 2, Part 3 文法：It seems that... / seem to do / 過去完了進行形 / 過去完了形	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		12週	Lesson 4: Bright Stars in a Dark Sky—Tekapo Part 4, Exercises, Communication Strategies, Reading Skills 2 代名詞・名詞（句）が指すもの 文法：It seems that... / seem to do	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。許可を求める疑問文を使用することができる。
		13週	Lesson 5: The Story of Amazing Grace Part 1, Part 2 文法：受動態の完了形 / 関係副詞 (why, when, where)	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		14週	Lesson 5: The Story of Amazing Grace Part 3, Part 4 文法：関係副詞 (why, when, where)	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		15週	Lesson 1～5 Review（期末試験返却）	前期の学習内容を復習し、理解を定着させる。
		16週		
	3rdQ	1週	Lesson 5: Exercises, Communication Strategies Lesson 6: The Dark Side of Diamonds Part 1 文法：現在分詞を用いる分詞構文	演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。感謝を述べることができる。英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		2週	Lesson 6: The Dark Side of Diamonds Part 2, Part 3 文法：S+V+ 現在分詞 [doing]	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		3週	Lesson 6 The Dark Side of Diamonds Part 4, Exercises Communication Strategies, Reading Skills 3 文中より例を見つける	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。文章中の例示の表現を知る。
		4週	Lesson 7: Ice Cream That Does Not Melt Part 1, Part 2, 文法：分詞を用いた慣用表現	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		5週	Lesson 7: Lesson 7: Ice Cream That Does Not Melt Part 3, Part 4 文法：It is[was] ～ that...（強調構文）	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		6週	Lesson 7: Exercises, Communication Strategies Lesson 8: The World of Haiku Part 1 文法：助動詞+受動態	演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。招待の表現を学ぶ。英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		7週	Lesson 8: The World of Haiku Part 2, Part 3	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		8週	中間試験(1～7週の理解度確認)	4半期の学習内容を復習し、理解を定着させる。
	4thQ	9週	Lesson 8: The World of Haiku Part 4, Exercises 文法：仮定法過去, Communication Strategies Reading Skills 4 時系列をたどって読む	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。同意の表現を学ぶ。時をあらわす語句・時制に注意して読むことができる。
		10週	Lesson 9: Stephen's Story: A Story That Will Never End Part1, Part 2 文法：S+V+O+O (why ～, how ～など) / S+V (知覚動詞)+O+C (分詞)	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		11週	Lesson 9: Stephen's Story: A Story That Will Never End Part 3, Part 4 文法：if 節を使わない仮定法過去 10代でがんを患ったスティーヴン・サットンがやり始めたこと ①	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		12週	Lesson 9 Exercises, Communication Strategies Lesson 10: Messages from a Trunk Part 1	演習を通し、文法項目と語彙の理解を定着させる。意見に対する反対の表現を学ぶ。英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		13週	Lesson 10: Messages from a Trunk Part 2, Part 3 文法：so ～ that... 「非常に～なので…」	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。
		14週	Lesson 10: Messages from a Trunk Part 4, Exercises, Communication Strategies, Reading Skills 5 トピック・センテンスを探す 文法：仮定法過去完了	英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報を習得する。うれしい、不快などの感情表現を学ぶ。トピックセンテンスに関する知識を深め、読解に役立てる。
		15週	Lesson 6～10 Review（期末試験返却）	後期の学習内容を復習し、理解を定着させる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14

				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
		英語運用能力向上のための学習		自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14

				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
評価割合						
	中間試験		期末試験		小テスト・課題	合計
総合評価割合	35		35		30	100
基礎的能力	35		35		30	100
専門的能力	0		0		0	0
分野横断的能力	0		0		0	0